



# レバノン系アメリカ人の視点から見る レバノンの食と文化 おまけに、少し英語も勉強しましょう！

11月29日（日）に、イーグレひめじ4階セミナーC・D室で、国際交流ふれあい教室「レバノン系アメリカ人の視点から見るレバノンの食と文化おまけに、少し英語も勉強しましょう！」を実施しました。講師はレバノンとヨーロッパにルーツがあり、アメリカ・フェニックス市出身で、現在は市内の小中学校でALTとして勤務されているリリアン・ハビッシュさんをお迎えしました。参加者は17名集まり、終始、熱心にリリアンさんの話に耳を傾けました。



今回は、初めての試みとして、英語で開催しました。司会進行から、講師のプレゼンテーション、参加者からの質問まで、2時間英語が飛び交うにぎやかなイベントになりました。また、今回は、言語サポートとしてCIRのオクイルさんも一緒に参加してもらい、イベントを盛り上げてくれました。



プレゼンテーションでは、リリアンさんの自己紹介クイズから始まり、ダイナミックな家族の歴史、レバノンの紹介、アメリカのレバノン系アメリカ人についてや、地中海の食文化とレバノンの食文化の紹介など、幅広い内容でとても充実したものでした。プレゼンテーションは日本語訳を用意していたので、参加者のみなさんは訳と照らし合わせながら、興味津々に講師の話を聞いていました。参加者の中には、相づちやリアクション、所々積極的に質問をする人もおり、参加者の熱心さを感じました。

今回は、講師のプレゼンテーションがメインでしたが、本来なら、国際交流ふれあい教室は講師の講演に加えて、料理作り等の体験を交えながら、講師の出身国や地域を紹介してもらライイベントです。新型コロナウイルスの状況が落ち着き、料理ができる状態まで戻れば、ぜひまたリリアンさんに講師をお願いしたいと思います。

